

第24回未来医療セミナー

演題：最先端計測技術でみる “ゆらぎ”と生命機能

演者：大阪大学大学院生命機能研究科・医学系研究科 教授
先端融合領域イノベーション促進（スーパーCOE）拠点
“生体ゆらぎ”プロジェクト学術分野責任者

柳田 敏雄 先生

《要旨》

生物と人工機械の働くしくみは何がちがうのでしょうか？
この問題にアプローチするために我々は1分子ナノ計測など
先端計測技術を開発してきました。そして、生物は邪魔者である
はずの熱ゆらぎ（ノイズ）をうまく利用することで、小さな
エネルギーで効率よく働くことができる巧いしくみを持っている
ことが解ってきました。また、ゆらぎを使うと、その働きは
曖昧になってしましますが、生物はこの曖昧さも生物特有の自
律性や柔軟性に巧く生かしているらしいことがわかりました。

講演では、“ゆらぎ”が分子モーターから細胞、ヒト脳まで
階層を超えてその柔軟な機能にどのように生かされているかを
解説します。

日 時：2006年9月27日(水) 18:00より

場 所：大阪大学医学部附属病院外来棟4階 第1カンファレンス室

連絡先：未来医療交流会(大阪大学医学部附属病院未来医療センター内)

Tel：06-6879-6557/6552, Fax：06-6879-6538

E-mail: koryukai@hp-mctr.med.osaka-u.ac.jp

協 賛：21世紀COE「細胞・組織の統合制御にむけた総合拠点形成」

-Center for Integrated Cell and Tissue Regulation-